

2009年11月16日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSR ビル

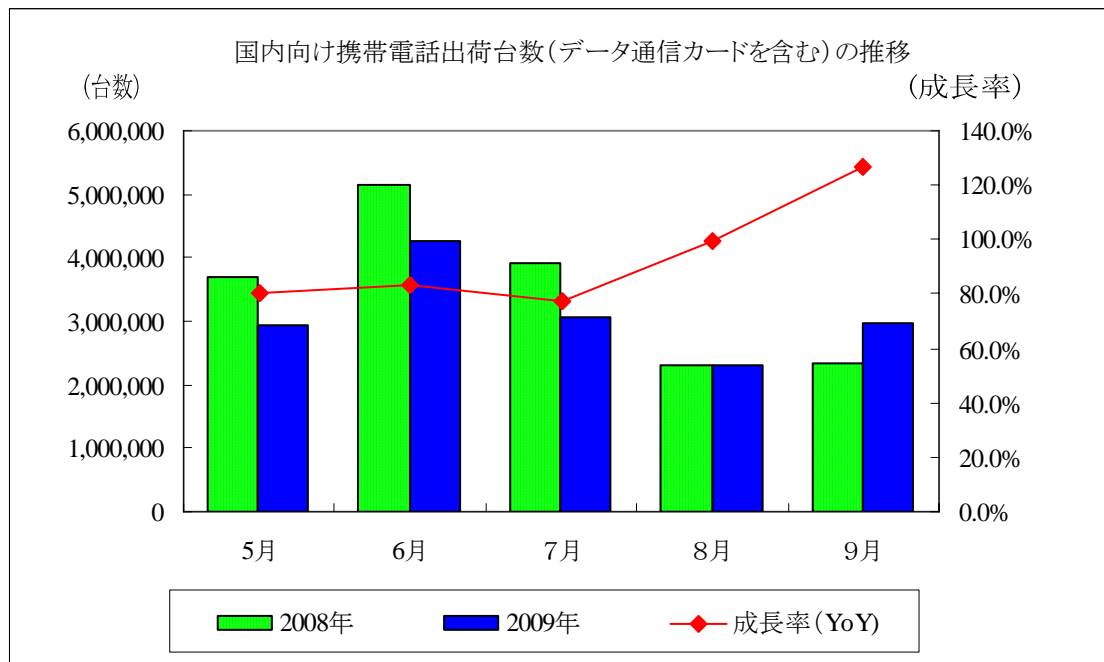
代表取締役社長 藤田正雄

## 2009年9月の国内携帯電話出荷台数は前年同月比で大きく成長 ～ KDDI(au,iida)陣営の出荷台数が対前月比で150%の成長を遂げる ～

株式会社テクノ・システム・リサーチは国内市場向け携帯電話出荷台数の統計資料『月刊携帯電話機出荷統計情報』2009年9月号を11月初旬に発刊しました。

2009年9月の国内携帯電話出荷台数は、データ通信カード（WILLCOM CORE 3G、Mobile WiMAX用も含む）と合わせて295万8千台となり、300万台に迫る勢いだった。対前月比で128.1%と久々にプラスに転じるとともに、前年同月比でも127%と今年に入って初めてのプラス成長を記録した。

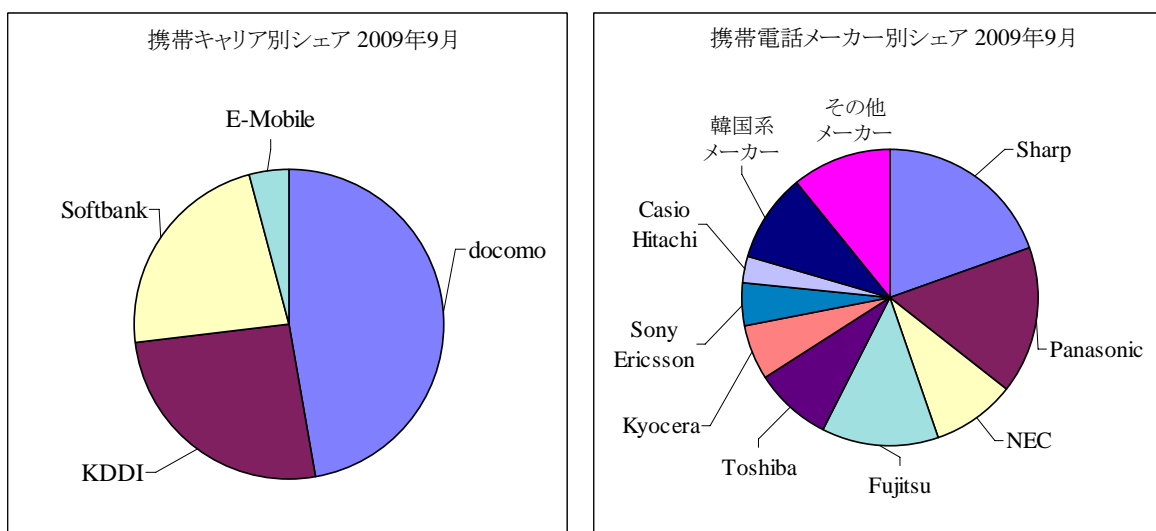
9月は夏モデル新製品の後半発売モデルの出荷が行われたとともに、夏から始まった各キャリアのプロモーションやキャンペーンなどの影響で出荷台数が伸びた。また、データ通信カードの出荷もNetindexがWILLCOM CORE 3G向け製品の出荷を行なったことで出荷台数が伸び、対前月比113.6%となり、再びプラス成長に転じた。



キャリア別の出荷台数を見てみると、ドコモ向けが前月よりシェアを若干伸ばし全体の約47%強にあたる138万8千台、KDDI(au)向けが76万台となり再びシェアNo.2に返り咲いた。ソフトバンクモバイル（Disney Mobile含む）向けは66万7千台、イーモバイル向けが12万6千台であった（※いずれもデータ通信カードを含む）。

9月は全キャリア向けの出荷台数が伸びたが、最も大きな成長を遂げたのがKDDI(au,iida)向

けの出荷で、対前月比 150%成長を記録した。これまで同社は価格面などで積極的な販促を行なってきたが、9月より「指定通話定額」サービスの適用を開始したことも成長の要因と見られる。



携帯電話機メーカー別の出荷台数シェアを見てみると、引き続き Sharp の首位は不動だが出荷台数の伸び率は他の主要メーカーと比べると鈍ってきた。また、2位以下の動きを見てみると Panasonic と Fujitsu は順調に出荷を伸ばしたが、NEC が先月に引き続き伸び悩んでおり、その一方で9月に新製品「PLY」を出荷した Toshiba が NEC に迫る勢いを見せた。

9月に大きな躍進を見せたのは韓国勢であった。特に LG は、発売が遅れていた「L-04A」と「L-06A」の出荷を9月に行なったことで20万台近い出荷を記録し、Samsung も低価格製品が好調を保っており前月より出荷台数を大きく伸ばした。また、8月より動きの見え始めた KDDI 向け出荷をメインとするセットメーカー(Kyocera、Sony Ericsson、Toshiba など)の回復傾向は9月に入っても顕著となり、KDDI 向けの出荷台数は対前月比で 150%の成長を遂げた。10月からは同社の冬春モデル新製品の出荷も始まることから、今後は KDDI 陣営の巻き返しが期待される。

【2009年9月発売の新製品】

キャリア	メーカー	モデル名	特徴 etc.
docomo	Sharp	SH-08A	ソーラー&防水ケータイ「SOLAR HYBRID」
	LG	L-04A	タッチパネル搭載、シンプルスライドスタイルケータイ
		L-06A	Googleサービスキー搭載のタッチパネル
KDDI	Toshiba	PLY	5つの層に積み重なった斬新なデザインとカラー
Softbank	NEC	831N	緊急地震速報に対応(ソフトバンク初)
	Samsung	830SC	ジョルジオ・アルマーニのデザイン

【資料紹介】

『月刊携帯電話機出荷統計情報』は各携帯電話機メーカーの通信事業者向け出荷台数について、毎月各モデル別に調査し統計を取って資料として纏め上げたものです。モデル別のデータを必要とする顧客にとって最適の資料となります。

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ  
 第2グループ 武花勇一(takehana@t-s-r.co.jp) 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp)  
 TEL:03-3866-4505 / e-Mail:info@t-s-r.co.jp